

友好都市「都江堰市」を紹介します

問い合わせ 企画財政課 ☎ 02125

平成13年4月10日に友好都市提携をした中国四川省都江堰市を紹介いたします。

都江堰市には、パンダを抱いて写真撮影することが出来る施設もあります。

都江堰市ってどんなまち？

古くは蜀の名前で知られた四川省。この省都「成都市」から北西へ約50kmのところにある都市が都江堰市です。市域は1,208km²。本市の15倍ほどの広さに約65万人が住んでいます。2千300年ほど前に築かれ、現在も機能する巨大な水利施設「都江堰」と、道教の発祥の地の1つとされる「青城山」は、ユネスコの世界遺産に登録されています。

都江堰市の自然とパンダ

都江堰市の北西にかかる龍門山脈は、「生きた化石」として有名なメタセコイアをはじめ、豊かな植生が分布しています。希少な動物も多く、ジャイアントパンダや「西遊記」に登場する孫悟空のモデルになったとされるキンシコウなども生息しています。



歴史と希少な自然を体験できる都江堰市。みなさんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。

海外ボランティア体験談

現地の人と触れ合い、文化を学び共感した、あつという間の2年間

JICA（国際協力機構）のシニア海外ボランティアとして、平成27年1月から2年間、南米のボリビアで自動車整備技術を指導してきた宗藤伸一さん（大竹市 66歳）に体験談を伺いました。

ボリビアには、雨季と乾季がありますが比較的過ごしやすい気候で、治安も良く安心して生活できました。また、街中では日本の中古車がたくさん走っており、日本では買い替えるレベルの部品も、修理して大事に使っているのには驚きました。

私は、ボリビアのタリハという町にある職業訓練学校で、自動車整備技術を指導しました。生徒たちは、働きながら学びに来る人が多かったですが、まじめに授業を受けてくれました。また誕生日には、パーティーも開いてくれました。ボリビアの人たちは、ダンスが大好きで、パーティーなどでは必ずダンスタイムがあります。教わりながら一緒に踊ったことは、良い思い出となりました。

ボランティア活動を通じて、現地の人と触れ合い、文化を学び共感できたことは、私の人生において

とても良い体験となりました。このような体験は、人生を豊かにしてくれます。若い方にも積極的に海外ボランティアに参加してほしいと思います。



2月7日に入山市長（右）を表敬訪問し、ボランティア活動について報告した宗藤さん（左）。

世界を変える力を 海外ボランティア募集

問い合わせ JICA中国 ☎082-421-6305

幅広い技術や経験を活かして、海外の開発途上国の人々と互いに理解し合いながら、自助努力を促進させる形でボランティア活動を行います。

採用された方には、派遣前に、語学や技術補完などのさまざまな研修を行いサポートします。

全国各地で説明会も開催していますので、詳しくは、JICAボランティアウェブサイトをご覧ください。（<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>）